

## 学術情報基盤としての大学図書館等の今後の整備の在り方について(中間報告)の概要

### 基本的考え方

学術情報基盤は国全体の学術研究のための基盤であり、総合的・戦略的整備が必要  
基盤整備は単純に競争原理にゆだねるのではなく、一定の政策的配慮が必要  
大学の壁を越えた、さらには大学と他機関相互が連携するシステムの構築が必要  
全国共同利用施設の整備・運営に当たっては、国の施策として推進する体制構築が必要

### 1. 大学図書館の現状

大学図書館の基本的な役割

電子化の急速な進展

電子ジャーナル、資料の電子化等の状況

電子化の新たな波

増大する大学図書館の負担

収蔵スペースの狭隘化

国立大学法人化等による変化

学術論文誌の価格の上昇

### 2. 大学図書館を取り巻く課題

大学図書館の財政基盤が不安定

電子化への対応の遅れ

体系的な資料の収集・保存が困難

基盤的経費の減少により、体系的な資料の収集・保存が困難

資料保存のための環境が未整備

目録所在情報サービスの問題点

図書館サービスの問題点

主題知識、専門知識を持った専任の図書館職員が不十分

情報リテラシー教育の位置付けが不明確

利用者ニーズの把握が不十分

### 3. 緊急に対応が必要な事項

#### 学内理解の必要性

大学図書館の位置付けの明確化

財政基盤強化の必要性

共通経費化することの必要性

#### 電子化への積極的な対応

利用者ニーズへの対応

大学の特色等を活かした貴重書等資料の電子化支援

戦略的な紙媒体の収集・保存の必要性

狭隘化等への対策としての電子化

電子情報の脆弱性への対応

#### 大学図書館における基盤設備の整備の必要性

#### 大学図書館間連携の一層の推進

#### 大学図書館と社会・地域との連携の推進

大学の学術情報発信拠点としての図書館

地域社会への貢献

### 4. 今後更に検討を進めるべき課題

今後の電子化を踏まえた大学図書館の役割と

強化すべき機能

さまざまな学術資料の収集・保存体制の確立・強化

全国の大学図書館に対する基盤としての目録所在情報

サービスの枠組みの強化

電子資料の確実な保存とアクセス環境の確保

情報リテラシー教育の推進

電子化の新たな波への対応

機関リポジトリの推進方策

大学図書館の組織・運営体制の強化

新しい大学図書館の使命

期待される機能を考えた組織・運営体制の強化

大学図書館における教育サービス機能の強化

高度の専門性を持った大学図書館職員の確保・育成方策

新しい大学図書館評価の考え方